



沖縄県立那覇みらい支援学校
開校準備室だより

〒900-0024
那覇市古波蔵4丁目10番17号
電話 (098)855-7831
FAX (098)855-7832
校長 新垣 ゆかり



1月は、4月から使用する楽器や遊具などの備品の入札が、行われました。また、県教育委員会から本校へ就学する児童生徒の通知も届きました。備品の納入も始まり、少しずつ学校らしくなってきました。運動場の工事もほぼ完了し、2月の検査を待つのみです。

これまでは、事務室で集まって仕事をしていましたが、オミクロン株の流行を受けて、本校でも各階に職員が分散して勤務しています。メールや電話機能を駆使し、互いに連絡を取り合う中で業務を進めています。私自身は、久しぶりに学校で勤務するのですが、広い校舎内でもこのシステムを活用すると業務の効率化も進められることに驚きを感じています。ただ、コロナ禍となり、人との関わりが希薄になることはやはり寂しいです。たまには、職員の顔も見ながら話したくなるので、どちらの良さもいかしながら、今月も円滑な業務の推進に努めていきたいと思ひます。



運動場も整いました！

高等部入学者選抜への志願が始まります。

2月8日、9日は、高等部の出願日となっています。今年度は以前から案内している通り、一般入学の志願受付、学力検査等の対応については、現在の通学区域の学校（志願前相談を受けた学校）にて行います。

本校の学校教育目標・校訓などが決まりました。②

第10号では、学校教育目標と校訓について説明を行いました。今号では、本校の目指す児童生徒像についてです。本校は学校教育法施行令第22条の3に示される肢体不自由、病弱、知的障害のある児童生徒のための学校です。『こんな児童生徒になってほしい』、『なりたいたいと思っほしい』と思っています。その児童生徒像と対になるのが目指す教職員像です。4月から本校で子供たちの教育に携わる先生方には、子供たちの学ぶ環境を整えていく役割を担っていくために必要なことを示してい

〈目指す児童生徒像〉

- 心や身体が健やかな人
- 進んで何事にも取り組む人
- おもいを伝えられる人
- 自らを理解し、他者を大切にす人
- 持てる力(自分らしさ)を發揮し、
自立し社会に参加・貢献する人

ます。

子供たちの心身の安全を確保し、学びの環境を整えるためには、教職員一人一人が人権を大切にし、日々の学びを大切にするという気持ちを持っていかれたらと考えています。

私自身も教職について33年になりますが、振り返れば、児童生徒に教えていたと思っていたのですが、実は自分が児童生徒や保護者の皆さんからたくさん学ばせてもらい、育てていただいたことをいま改めて実感しています。子供も教職員も学びあいの中で成長していきたい。その思いです。

〈目指す教職員像〉：教学相長（きょうがくあいちょうず）礼記
児童生徒一人一人の人権を大切にし、それぞれの児童生徒に応じた「自立し、社会に参加・貢献する」という目標達成に向けて、「児童生徒に教えることから常に学び続ける」ことができる教職員

- 児童生徒一人一人の視点に立ち、「良さ」の伸長に努める教職員
- 日々の教育活動に真摯に取り組み、実践の客観的な振り返りと改善・充実に努める教職員
- 特別支援教育の専門家として学び続ける教職員
- 教育公務員として自覚し、責任を持つ教職員
- 学校運営に対して広い視野に立ち、主体的に参画する教職員
- 保護者の思いや願いを共感的に理解するとともに、協働して児童生徒の「みらい」を考える教職員

医療的ケア説明会実施中

医療的ケアを必要とする児童生徒の保護者向けに4月からの本校での実施に向けた説明会を行っています。現在在籍している学校において開催、面談を予定していましたが、新型コロナ感染拡大により、本校に来ていただき対応しています。医療的ケアの実施につきましては、事前の手続き等がありますので、まだの方はぜひ本校教頭まで御連絡をお願いします。

エンリッチルーム開設に向けて～「ファンタスコラやってみました」に参加しました。

皆さんは「ゆめ水族園」という取組を御存じでしょうか。セイコーエプソン社が社会貢献の一環として実施している活動です。部屋の中を暗くして、プロジェクターを使って動物や魚、花などの美しい映像を投影する中で、児童生徒の情操に働きかける活動です。

県内でも私の前任校である那覇特別支援学校で実施したことがあり、人工呼吸器をつけた子供たちの病棟で実施した際にアラーム音が全くならなかったことや肢体不自由のある子どもたちが映像に手を伸ばし、豊かな反応が多くみられました。本校で同じような環境を設定できないか4月から園教諭を中心に検討してきました。1月17日、既にその取組を学校で実践している北海道の特別支援学校3校も参加する「ファンタスコラやってみました。」という情報交換会に本校もオブザーバーとして参加しました。肢体不自由だけでなく知的障害でも取り組まれ、自立活動だけではなく美術科や算数でこの活動を取り入れており学習後の評価の仕方なども学ぶことができ、大変充実した会でした。本校では、その活動を中心に行う場所を「エンリッチルーム」と名付けて取り組んでいこうと考えています。「エンリッチ：心も身体も学びも豊かにする」ことを目指して、様々な仕掛けを考えながら子供たちの学びを豊かにしていきたいと考えています。



エプソン
ゆめ水族園

